



カケハシ・プロジェクト（米国） アジア系米国青少年招へい（APAICS）の記録

1. プログラム概要

【目的】米国でアジア太平洋系アメリカ人の社会参画を促している団体・APAICS（The Asian Pacific American Institute for Congressional Studies）から推薦を受けた参加者が全米各地から訪日し、人的交流や視察を通じて日本の文化や社会について理解を深めました。また、アジア系アメリカ人の立場から、訪日中の学びや気づきを広く発信・共有し、今後の日米関係の強化に向けて積極的に活躍することを主目的に実施しました。

【参加者】米国のアジア系青少年（大学生・大学院生）24名、引率者1名

【訪問地】東京都、神奈川県、長崎県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

3月7日（木曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、渡航上の注意、新型コロナウイルス感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

3月12日（火曜日） 成田国際空港及び羽田空港より入国
3月13日（水曜日） 【学校交流】明治大学（秋葉原、神田周辺の散策を含む）
【視察】国会議事堂（参議院）
【視察】深川江戸資料館
3月14日（木曜日） 【視察】海外移住資料館
【視察】千葉工業大学東京スカイツリータウン®キャンパス
3月15日（金曜日） 東京都から長崎県へ移動
【表敬訪問】長崎県庁
【ホストファミリー対面式】
3月16日（土曜日） 【ホームステイ】
3月17日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】
【視察】長崎原爆資料館
【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
3月18日（月曜日） 長崎県から東京都へ移動

【表敬訪問】外務大臣政務官 穂坂 泰 氏

【表敬訪問】内閣総理大臣補佐官 石原 宏高 氏

3月19日（火曜日）

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

成田国際空港及び羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
3月13日【学校交流】明治大学	3月13日【視察】国会議事堂（参議院）
	
3月13日【視察】深川江戸資料館	3月14日【視察】海外移住資料館
	
3月14日【視察】千葉工業大学東京スカイツリータウン®キャンパス	3月15日【表敬訪問】長崎県庁

	
3月15日【ホストファミリー対面式】	3月16日【ホームステイ】
	
3月18日【表敬訪問】外務大臣政務官 穂坂 泰氏	3月18日【表敬訪問】内閣総理大臣補佐官 石原 宏高氏
	
3月19日【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表	3月19日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

最も印象に残ったのは、人々との交流でした。どこにいても、喜んで日本の紹介や説明をしてくれる人たちがいました。スカイツリーにある千葉工業大学の展示室では、そこで働く人たちとAIやAIの認識について話をすることができました。明治大学では、同じグループの日本人の学生たちと仲良くなることができました。ホームステイでは、ホストファミリーと本当に打ち解けることができた上に、諫早や島原を案内してもらえたのは素晴らしい経験でした。私たちが訪れた2つの資料館では、ツアーに参加して案内してもらうこともできました。

◆ 大学生

日本円を使用するのは初めての経験でしたが、移動時に使用する際、とてもわかりやすく、簡単に感じて感動しました。また、障がい者が利用しやすい様々なインフラがあったことも強く印

象に残っています。具体的には、博物館には必ず点字での説明があり、エレベーターには低い位置にボタンがあるなど、公共施設は障がい者が利用しやすいようになっていました。

長崎県民の日常生活を体験することができたホームステイでは心から楽しむことができました。家族や子供たちと話したり、日本文化や国について質問したりして、とても楽しい時間を過ごせました。

◆ 大学生

ホストファミリーの温かいもてなし、礼儀正しさ、そして彼らが日本文化を尊重しているのがとても良いと感じました。ホームステイ中はホストファミリーの息子さんと一緒に過ごしたのが一番楽しかったのですが、これはきっとまだ若くてナイーブだった頃の自分を思い出したからだと思います。彼の中に自分自身を見ることができたように思います。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校学生

参加する前は、上手く英語で会話ができなかったらどうしよう、と不安の気持ちでいっぱいでしたが、参加してみるととても楽しくて、私にとって大切な思い出になりました。伝えたいことが英語でなかなか表現できなかったり、相手の言っていることがわからず聞き返したりしていた時、「sorry…」と謝ると、「謝らないでいいんだよ！一緒に学んでいこう」と英語で言ってくれて、とても嬉しかったです。

神田明神に行った時、「Edokko（江戸っ子）」と書いてある看板があり、江戸っ子ってなに？と聞かれたのも印象的でした。ふいに聞かれるとなかなか答えるのは難しく苦戦しましたが、日本のあらゆることに興味を持ってくれるのを嬉しく感じました。

◆ ホストファミリー

日本文化について話す機会もありましたが、それ以上に米国の政治、経済の話題、イスラエルやウクライナといった外交問題の話もすることができ、わずか20歳くらいの青年でありながら高い視座で世界を俯瞰していて、こちらの良い刺激を受けました。専門的な話となると英語での話に難もあったため、私も妻もますます英語の勉強が必要だと感じました。また、息子の幼稚園の友達ともたまたま会うことができ、彼らにも国際交流の観点で良い刺激を与えることができたと思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	This spring break, I had the opportunity to participate in a study tour of Toyko and Nagasaki 🇯🇵 Thanks so much to the KAKEHASHI Project, a program fostering people-to-people exchanges between the United States and Japan, as well as the Asian Pacific American Institute for Congressional Studies (APAICS) and the Japan International Cooperation Center (JICE). I loved meeting everyone in the cohort as well as the Japanese homestay families, local students at Meiji University, government officials like the Special Advisor to the Prime Minister, and the fantastic coordinators who made this all possible. This initiative has been a cornerstone in promoting mutual understanding, trust, and cooperation between the two nations! #kakehashi #bridgeproject #japan #aapi
2024 年 3 月 16 日（Instagram） 訪日プログラム中の面白い発見の一つです。コインランドリーに漫画がありました！ いろいろな漫画のシリーズが全巻そろっていて、洗濯が終わるのを待っている間にくつろぐにはもってこいです。私たちはまた、今回の訪日を通じて、漫画が日本でこれほど人気がある理由のひとつは、自分の感情や考えを表現する身近な方法として考えられているからだと感じました。ゆえに、老若男女を問わず愛され続けているのでしょう。	2024 年 3 月 20 日（Facebook） この春休み、私は東京と長崎で、日米間の人的交流を促進するプログラムであるカケハシ・プロジェクトに参加しました。アジア太平洋米国議会研究所（APAICS）や JICE に大変お世話になりました。参加者の皆さん、ホームステイ先のご家族、明治大学の学生、内閣総理大臣補佐官をはじめとする政府関係者、そしてこのような交流を可能にしてくれた素晴らしいコーディネーターなど、皆さんに出会えてとても良かったです。このプログラムは、日米間の相互理解、信頼、協力を促進する礎になっています！

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、神奈川県、長崎県 全 3 グループが発表

	
【訪日中の学び】 文化や和食、有名な観光スポットから大学生活や日本の家庭生活まで多くを学びました。 【アクション・プラン】 メンバーが Vlog 動画を作ったので、プレゼンテーションの前にこれを見せ、その後、写真やビ	【訪日中の学び】 長崎でのホームステイは、日本の個々を尊重する文化を知り、日本の家族との絆を構築する、素晴らしい機会になりました。 深川江戸資料館では江戸時代の街並みを体験でき、渋谷駅の近くでさえも、忠犬ハチ公という

デオをプレゼンテーションにまとめます。 これらを各メンバーの大学のキャンパスやコミュニティセンターなどでプレゼンテーションを行います。	日本の歴史の継承を垣間見ることができました。 日本滞在中には、ホームステイや都内散策、歴史の学びを通して、日本文化の理解を促進しました。 【アクション・プラン】 3月下旬から5月初旬にかけて、各大学において、友人、キャンパスの学生達に対して、大学生団体、大学の学部（アジア研究、政治学、国際問題など）で、カケハシ・プロジェクトでの経験を共有します。
--	--

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）